

2. 経費支出概要書（経費内訳）

北大阪商工会議所

(1) 経営相談支援事業

(単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	330	8,250,000		350	8,750,000		500,000	
支援機関等へのつなぎ	25	250,000		31	310,000		60,000	
金融支援（紹介型）	15	450,000		15	450,000		0	
金融支援（経営指導型）	65	2,600,000		65	2,600,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	3	60,000		3	60,000		0	
資金繰り計画作成支援	1	20,000		1	20,000		0	
記帳支援	10	250,000		10	250,000		0	
労務支援	15	300,000		15	300,000		0	
人材育成計画作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
マーケティング力向上支援	15	300,000		15	300,000		0	
販路開拓支援	10	200,000		10	200,000		0	
事業計画作成支援	80	4,000,000		85	4,250,000		250,000	
創業支援	20	400,000		20	400,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	5	100,000		5	100,000		0	
コスト削減計画作成支援	3	60,000		3	60,000		0	
財務分析支援	5	50,000		5	50,000		0	
5S支援	5	50,000		5	50,000		0	
IT化支援	20	400,000		20	400,000		0	
債権保全計画作成支援	1	10,000		1	10,000		0	
事業承継支援	30	600,000		30	600,000		0	
災害時対応支援	0	0	0	0	0			
フォローアップ支援	70	350,000	70	350,000	0			
結果報告	330	3,300,000	350	3,500,000	200,000			
小 計	—	22,200,000	22,200,000	—	23,210,000	23,210,000	1,010,000	1,010,000

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
法律支援	36	864,000		36	864,000		0	
税務支援	80	1,920,000		80	1,920,000		0	
労務支援	30	720,000		30	720,000		0	
経営一般支援	120	2,880,000		120	2,880,000		0	
知的財産支援	10	240,000		10	240,000		0	
マーケティング支援	10	240,000		10	240,000		0	
その他	100	2,400,000		100	2,400,000		0	
小 計	—	9,264,000		9,264,000	—		9,264,000	

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	23,794,744	別紙事業調書【変更後】のとおり	22,784,744		▲ 1,010,000

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	782,750	別紙事業調書【変更後】のとおり	782,750		0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		56,041,494		56,041,494		0

事業名		新産業創出プログラム事業		事業番号		I		新規/継続		新規	
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで		I 年目		←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業概要	枚方市駅前の新拠点にて複数のテーマの交流会を行い新事業・創業に向けた支援機関との橋渡しを行う。									
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>人やモノ、文化やサービスなど、さまざまな分野でIT化が進んでおり、次々と新しい技術やサービスが生み出されている。加えて新型コロナウイルスの影響により、ライフスタイルや産業の構造も大きく変化した。</p> <p>さらに新事業の創出を行うにあたって、事業者の抱えている課題は多様化している中、支援機関が事業者に対して様々な支援策を打ち出している。新事業を検討されている事業者や創業者が適切な支援策を選択できるよう枚方市駅前の集客力の高い商業施設にて、新事業創出プログラムを実施することで、支援機関や事業者、創業者同士の交流を促すことのできる新しい拠点を設置する。幅広い課題に対応できるように多様な支援機関との連携、橋渡しを行う。具体的には、当所相談においてニーズが高いと見受けられる「デザイン」「DX推進」「女性起業家」の3つを今年度の主要テーマとして支援機関と連携を図り、新産業創出事業者の掘り起こしを行い、6～8人程度での交流会によるネットワークづくりを行う。</p> <p>新事業を行う上での3事業をテーマとした理由については、下記の通り。</p> <p>「デザイン」 中小企業において、競争力を強化していくために、デザインの活用やブランド化というのが有効な戦略であるが、クリエイターとの活用方法やどこで連携したらいいのかが分からないといった声が事業者から寄せられている。さらに、当所管内在住のクリエイターが多数いる中で、クリエイターとしても地域企業とつながる場がないといった課題が挙げられる。MEBICと連携しそのような垣根を取り払うことで、管内事業者とクリエイターとが良好な関係を築くための場が必要であると考えているためである。</p> <p>「DX推進」 ビジネスの環境が激しく変化する中で事業者や創業者が成長していくためには、少ないコストで業務の効率化を図るすなわち「DX」の導入が不可欠となっている。新事業を行うにあたって、高度な設備投資を行うことは、非常にリスクをはらんでいる。「DX」の導入にあたって、どういった業者と連携を行うべきか、コストや手法について事業者に理解いただき、馴染んでいただくために、大阪府DX推進パートナーズと連携することで、導入のハードルを少しでも下げられると考えている。</p> <p>「女性起業家」 現状、女性起業家に特化した支援プログラムを打ち出している支援機関は少ない。女性起業家応援プロジェクトを行っている「LED関西」も大阪市内にしか拠点を持っていない状況である。女性起業家の中からも近くに相談や支援をしてほしいとの希望も聞きしている。「LED関西」と連携し女性起業家の支援窓口を開設することで地元女性起業家の掘り起こしを行い、支援を行うことで、取りこぼすことなく事業の実現につなげる。</p>									
	支援する対象 (業種・事業所数等)	新事業事業者の中で、「デザイン」「DX推進」「女性起業家」に関する支援を希望される事業者、創業者									
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	ビジネスを取り巻く環境が目まぐるしく変化し、予測困難な現在社会の中で、支援機関を活用し、新しい事業を創出しようと考えている事業者は多い。当所においても新型コロナウイルスの影響下の中で、補助金を活用して新事業の創出を考えていた事業者は400者近くいた。潜在的なニーズはさらに高いと考えられる。									
	これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値									
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	「デザイン」「DX推進」「女性起業家支援」の3つを今年度の主要テーマとして支援機関と連携を図り、新産業創出事業者の掘り起こしを行い、6～8人程度での交流会によるネットワークづくりを行う。									
	○ 人材交流型	各プログラム4回程度の交流会を新拠点にて実行する。									
	販路開拓型	<ul style="list-style-type: none"> ●「デザイン」局一クリエイターと連携した新たなビジネスや価値の創出支援との連携 メビックと連携し大阪産業局が保有する地元クリエイターと新事業を検討している事業者の交流会を実施する。									
	ハズレ型	地域のクリエイターの販路開拓、地域事業者の広報力強化を目的として、クリエイターと事業者の名刺交流会、事業者のデザインやブランディングに関する課題共有を行う。									
	独自提案型	<ul style="list-style-type: none"> ●「DX推進」商一3大阪府DX推進パートナーズ活用による府内中小企業のお困りごと解決への支援との連携 新事業を導入する上での新しいアイデアとなるよう導入手法等についての情報交換・ワークショップを行う。DX推進パートナーズとの個別相談会などにより、パートナーズと事業者との交流を促す。府内の中小事業者がDXの導入により課題を解決できることを目的とする。									
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	○ (a)府施策連携		(b)広域連携		(c)市町村連携		○ (d)相談事業相乗効果				
	商-3		大阪府DX推進パートナーズの活用による府内中小企業のお				その他				
	(a) 府施策連携事業：下記3つの府施策連携事業の推進 商一3大阪府DX推進パートナーズ活用による府内中小企業のお困りごと解決への支援との連携 局一1クリエイターと連携した新たなビジネスや価値の創出支援との連携 局一2女性起業家支援ネットワークの推進との連携 (b)相談事業相乗効果：参加企業に対する2割のカルテ化を支援する。										

主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 75 社	3つのプログラムで6～8人程度の交流事業を4回開催する。広報については、当所会報誌やHP、各団体の会合等でPRを行う。										
	支援対象企業の変化 (代表的な指標)	新事業事業の創出への有益な情報やアイデアを得ることができる。同じ考えや課題を持つ事業者とネットワークを構築することができ、新事業創出へのマインドを高めることができる。											
	指標	有益な情報交換やネットワークを構築できたと回答した事業者	数値目標	80%									
その他目標値	目標値の内容⇒												
算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価	40,400	円 ×	支援企業数	25	社 ×	係数	1.00	=	標準事業費	1,010,000	円	
	⇒	40,400	円 ×	⇒	25	社 ×	⇒	1.00	=	1,010,000	円		
	⇒	40,400	円 ×	⇒	25	社 ×	⇒	1.00	=	1,010,000	円		
				合計	75	社	(小計)			3,030,000	円		
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)												
											計	3,030,000	円
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)												
	算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等								
		②受益者負担		円	負担金の積算								
		○	(a)府施策連携		(b)広域連携		(c)市町村連携	○	(d)相談事業相乗効果				
標準事業費			補助率			(①市町村等+②受益者負担)							
		3,030,000	円 ×	1.00	=	3,030,000	円	(円)					
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		役割(配分の考え方)							
	○	北大阪商工会議所		3,030,000 円									

別紙：積算根拠となる支:北大阪商工会議所

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 25 社	●「デザイン」局ー1クリエイターと連携した新たなビジネスや価値の創出支援との連携					
	支援対象企業の変化	新事業事業の創出への有益な情報やアイデアを得ることができる。同じ考えや課題を持つ事業者とネットワークを構築することができ、新事業創出へのマインドを高めることができる。						
	指標	有益な情報交換やネットワークを構築できたと回答した事業者	数値目標	80%				
その他目標値	目標値の内容⇒							
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 25 社	●「DX推進」商ー3大阪府DX推進パートナーズ活用による府内中小企業のお困りごと解決への支援との連携					
	支援対象企業の変化	新事業事業の創出への有益な情報やアイデアを得ることができる。同じ考えや課題を持つ事業者とネットワークを構築することができ、新事業創出へのマインドを高めることができる。						
	指標	有益な情報交換やネットワークを構築できたと回答した事業者	数値目標	80%				
その他目標値	目標値の内容⇒							
事業の目標③	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 25 社	●「女性起業家」局ー2女性起業家支援ネットワークの推進との連携					
	支援対象企業の変化	新事業事業の創出への有益な情報やアイデアを得ることができる。同じ考えや課題を持つ事業者とネットワークを構築することができ、新事業創出へのマインドを高めることができる。						
	指標	有益な情報交換やネットワークを構築できたと回答した事業者	数値目標	80%				
その他目標値	目標値の内容⇒							

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		新産業創出プログラム事業		事業番号		I	新規/継続	新規
想定する実施期間		R3	年度～	年度まで	I	年目	←複数年段階的实施事業は左欄に○を付けること。また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業概要	枚方市駅前の新拠点にて複数のテーマの交流会を行い新事業・創業に向けた支援機関との橋渡しを行う。						
	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>人やモノ、文化やサービスなど、さまざまな分野でIT化が進んでおり、次々と新しい技術やサービスが生み出されている。加えて新型コロナウイルスの影響により、ライフスタイルや産業の構造も大きく変化した。</p> <p>さらに新事業の創出を行うにあたって、事業者の抱えている課題は多様化している中、支援機関が事業者に対して様々な支援策を打ち出している。新事業を検討されている事業者や創業者が適切な支援策を選択できるよう枚方市駅前の集客力の高い商業施設にて、新事業創出プログラムを実施することで、支援機関や事業者、創業者同士の交流を促すことのできる新しい拠点を設置する。幅広い課題に対応できるように多様な支援機関との連携、橋渡しを行う。具体的には、当所相談においてニーズが高いと見受けられる「デザイン」「DX推進」「女性起業家」の3つを今年度の主要テーマとして支援機関と連携を図り、新産業創出事業者の掘り起こしを行い、6～8人程度での交流会によるネットワークづくりを行う。</p> <p>新事業を行う上での3事業をテーマとした理由については、下記の通り。</p> <p>「デザイン」 中小企業において、競争力を強化していくために、デザインの活用やブランド化というのが有効な戦略であるが、クリエイターとの活用方法やどこで連携したらいいのかが分からないといった声が事業者から寄せられている。さらに、当所管内在住のクリエイターが多数いる中で、クリエイターとしても地域企業とつながる場がないといった課題が挙げられる。MEBICと連携しそのような垣根を取り払うことで、管内事業者とクリエイターとが良好な関係を築くための場が必要であると考えているためである。</p> <p>「DX推進」 ビジネスの環境が激しく変化する中で事業者や創業者が成長していくためには、少ないコストで業務の効率化を図るすなわち「DX」の導入が不可欠となっている。新事業を行うにあたって、高度な設備投資を行うことは、非常にリスクをはらんでいる。「DX」の導入にあたって、どういった業者と連携を行うべきか、コストや手法について事業者に理解いただき、馴染んでいただくために、大阪府DX推進パートナーズと連携することで、導入のハードルを少しでも下げられると考えている。</p> <p>「女性起業家」 現状、女性起業家に特化した支援プログラムを打ち出している支援機関は少ない。女性起業家応援プロジェクトを行っている「LED関西」も大阪市内にしか拠点を持っていない状況である。女性起業家の中からも近くに相談や支援をしてほしいとの希望も聞きしている。「LED関西」と連携し女性起業家の支援窓口を開設することで地元女性起業家の掘り起こしを行い、支援を行うことで、取りこぼすことなく事業の実現につなげる。</p>						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	新事業事業者の中で、「デザイン」「DX推進」「女性起業家」に関する支援を希望される事業者、創業者						
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	ビジネスを取り巻く環境が目まぐるしく変化し、予測困難な現在社会の中で、支援機関を活用し、新しい事業を創出しようと考えている事業者は多い。当所においても新型コロナウイルスの影響下の中で、補助金を活用して新事業の創出を考えていた事業者は400者近くいた。潜在的なニーズはさらに高いと考えられる。						
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値							
	反省点							
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	人材育成型	「デザイン」「DX推進」「女性起業家支援」の3つを今年度の主要テーマとして支援機関と連携を図り、新産業創出事業者の掘り起こしを行い、6～8人程度での交流会によるネットワークづくりを行う。						
	○ 人材交流型	各プログラム4回程度の交流会を新拠点にて実行する。						
	販路開拓型	●「デザイン」局一クリエイターと連携した新たなビジネスや価値の創出支援との連携 メビックと連携し大阪産業局が保有する地元クリエイターと新事業を検討している事業者の交流会を実施する。						
	ハズル型	地域のクリエイターの販路開拓、地域事業者の広報力強化を目的として、クリエイターと事業者の名刺交流会、事業者のデザインやブランディングに関する課題共有を行う。						
	独自提案型	<p>●「DX推進」商-3大阪府DX推進パートナーズ活用による府内中小企業のお困りごと解決への支援との連携 新事業を導入する上での新しいアイデアとなるよう導入手法等についての情報交換・ワークショップを行う。 DX推進パートナーズとの個別相談会などにより、パートナーズと事業者との交流を促す。 府内の中小事業者がDXの導入により課題を解決できることを目的とする。</p> <p>●「女性起業家」局-2女性起業家支援ネットワークの推進との連携 女性の起業家を対象とした交流会を実施。地域における個別相談会および交流会を実施する。 女性起業家ビジネスプランコンテストファイナリストとの交流や、コーディネーターによるプラン作成方法を通じて、参加者同士の想いやプランのブラッシュアップを図る。 女性起業家へのビジネスプランコンテストへの参加者の掘り起こしを目的とする。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、DX推進交流会を中止。</p>						
事業手法	○ (a)府施策連携	(b)広域連携	(c)市町村連携	○ (d)相談事業相乗効果				
	商-3	大阪府DX推進パートナーズの活用による府内中小企業のお			その他			

	<p>システム (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)</p>	<p>(a) 府施策連携事業：下記3つの府施策連携事業の推進</p> <p>局ー1クリエイターと連携した新たなビジネスや価値の創出支援との連携 局ー2女性起業家支援ネットワークの推進との連携</p> <p>(b)相談事業相乗効果：参加企業に対する2割のカルテ化を支援する。</p>
--	---	--

主な事業の目標	総支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 50 社	3つのプログラムで6～8人程度の交流事業を4回開催する。広報については、当所会報誌やHP、各団体の会合等でPRを行う。									
	支援対象企業の変化 (代表的な指標)	新事業事業の創出への有益な情報やアイデアを得ることができる。同じ考えや課題を持つ事業者とネットワークを構築することができ、新事業創出へのマインドを高めることができる。										
	指標	有益な情報交換やネットワークを構築できたと回答した事業者	数値目標	80%								
その他目標値	目標値の内容⇒											
算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価	40,400 円	×	支援企業数	25 社	×	係数	1.00	=	標準事業費	1,010,000 円	
	⇒		円	×		社	×		=		円	
	⇒	40,400 円	×	25 社	×	1.00	=	1,010,000 円			円	
		合計		50 社	(小計)		2,020,000 円				円	
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)											
											計	2,020,000 円
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠(基準どおりの場合不要)											
	算出額	①市町村等補助	円		交付市町村等							
		②受益者負担	円		負担金の積算							
		○ (a)府施策連携	(b)広域連携	(c)市町村連携	○ (d)相談事業相乗効果							
標準事業費		補助率		(①市町村等+②受益者負担)								
2,020,000 円		×	1.00	=	2,020,000 円	(円)						
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名		配分額		役割(配分の考え方)						
	○	北大阪商工会議所		2,020,000 円								
					円							

別紙：積算根拠となる支:北大阪商工会議所

事業の目標①	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 25 社	●「デザイン」局ー1クリエイターと連携した新たなビジネスや価値の創出支援との連携								
	支援対象企業の変化	新事業事業の創出への有益な情報やアイデアを得ることができる。同じ考えや課題を持つ事業者とネットワークを構築することができ、新事業創出へのマインドを高めることができる。									
	指標	有益な情報交換やネットワークを構築できたと回答した事業者	数値目標	80%							
その他目標値	目標値の内容⇒										
事業の目標②	支援対象企業数の合計	設定根拠及び募集方法⇒ 25 社	●「女性起業家」局ー2女性起業家支援ネットワークの推進との連携								
	支援対象企業の変化	新事業事業の創出への有益な情報やアイデアを得ることができる。同じ考えや課題を持つ事業者とネットワークを構築することができ、新事業創出へのマインドを高めることができる。									
	指標	有益な情報交換やネットワークを構築できたと回答した事業者	数値目標	80%							
その他目標値	目標値の内容⇒										

【備考】

--

※別添で補足する内容があれば添付してください。